

固視状態の検査-直接観察法 Euthyscope(固視標付直像検眼鏡)による方法

目的

中心窩の残像の見え方
による固視状態の把握

準備物 Euthyscope・十字の固視目標



ユーティスコープ、オイテスコープのどちらでも OK。直像鏡と
言い方は直接眼底を除く検眼鏡の総称のよう。

観察光



euthyscope

ドーナツ状の視標を選び、通常健眼から始め他眼を
手で隠し、通常**緑(青)色フィルター**を通して直像鏡と
同様に検者は検査眼と同じ左右眼で眼底をのぞく



健眼で上手に検査できない場合、信頼性
は低い。検査は無散瞳でOKだが散瞳の方が正
確にできる。被検者に前もって見える視標を理解
させておくこと。

euthyscope の視標の黒点を他動的に中心窩
にあて、照射して**ドーナツ状の残像**を
被検者の眼底に作る



機種により黒点で眼底上の 4° 、 3° 、 2°
の範囲をおおう大きさがある。

光量を上げるか、被検者にしばらく**視標**を
固視させ、確実な残像を作る

明室又は暗室にて**十字の固視目標**を遠方におき、
照射した片眼で十字の真中を見るように命じる

近方にした方が残像が十字に入るのがよく判るが竹田千鶴子:視能
矯正マニュアル P200には遠方と記載されているのは固視目標を小さ
くし残像を大きくしてより正確に検査する為か? 同ページには**視標の
黒円が 3° と大きい為、正確な検査ができないと記載されている。**

YES

十字の中心と**ドーナツ状の残像**
の中心がずれていないか?

NO



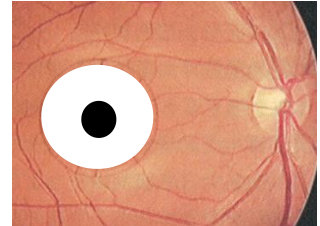
明室の方が判り易い。
中央が白く見えるよ。



図) 竹田千鶴子:視能矯正マニュアル
P201に加筆

中心固視

偏心固視



内海隆・中村桂子:眼科診療プラクティス
86P19の視標を変更

